



朝一小だより

活気あふれ、心が躍い、一人一人がより良く生きる学校

Tel048-461-0052 <http://www.asakadailshou.city-asaka.ed.jp/>

学校教育目標

- ・考える子
- ・やさしい子
- ・たくましい子



朝霞市立朝霞第一小学校

令和6年6月1日

児童数 587名



新しい膝折学校

校長 金子 二郎

爽やかな青空のもと、汗ばむような陽気で熱中症も心配されるくらいの日中かと思えば、一転、夜は肌寒ささえ覚えるような日もあり、体調管理には気を遣う日々となっております。それでも6月ともなり、雨雲で月もおぼろに見えるのでしょうか、正岡子規が「薄月夜 花くちなしの 匂いけり」と詠んだ季節を迎えようとしています。保護者や地域の皆様におかれましてはご健勝のことと拝察いたします。



さて、新しい学年を迎えてからふた月が経ち、新入生も小学生らしい顔つきとなる等、いずれの学年も新しい生活に大分慣れてきました。お陰様で毎日、多くの子供たちの輝くような笑顔を目にすることができています。日々の生活は今も昔も変わらない面がある一方で、社会の情報化、グローバル化、少子高齢化などにより子供たちを取り巻く環境は確実に変化しているようです。私自身が小学生であった頃は、学校から帰ると親や祖父母が家にいることが一般的で、「ただいま」と玄関にランドセルを放り出し近

所の空き地で「缶蹴り」などで遊び、夕焼けの頃に「またね」と友達と別れるというたわいのない毎日を誰もが送っていました。今は下校後の子供たちは様々な生活が待っています。「ガジェット」を用いれば世界中とつながることができるようになりました。近所の子供同士で同じような時を過ごすのとは異なり多様な経験をえられる反面、時には犯罪に巻き込まれる心配もあります。生活は格段に便利になりましたが、思いもよらない危険と隣り合わせになっています。子供たちが安心な毎日を送り健やかに成長するためには、多くの大人が力を併せる必要があると感じています。地域の高齢者、成人、学生、保護者、



PTA、NPO、民間企業、団体・機関等の幅広い地域住民等の参画を得て、地域全体で子供たちの学びや成長を支えるとともに、「学校を核とした地域づくり」を目指し、地域と学校が相互にパートナーとして連携・協働して行う様々な活動を「地域学校協働活動」といいます。子供たちを取り巻く様々な課題に取り組むためには、学校や地域人材がネットワークを作って取り組んでいくことが有効であり、学校だけで

なく地域社会も含め、社会総掛かりで子供を育ていく環境が望まれます。一昨年度に設置された本校の学校運営協議会も二期目を迎え、活動の充実が期待されます。他方、先日は例年、教職員の手で行っていたプール清掃に何人もの在校生や卒業生の保護者の方がご協力くださり、子供のためお力添えいただきました。重ねて紙面にて感謝申し上げます。何人もの大人に見守られて成長した子供たちが、将来、社会を支える大人になった時に、この地域に戻り、次世代の朝霞の子供たちのために力を尽くそうとする力と心意気を身に付けられる小学校生活を過ごすような「新しい膝折学校」を目指してまいります。



教育の目的は、子供たちが未来を創造する能力を持つように育てることだ (J.デューイ)